

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	当科入院加療が必要となった炎症症例の臨床的統計
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	研究責任者 顎顔面口腔外科学分野 助教 齋藤夕子 2011年1月1日～2026年12月31日の期間に、炎症が原因で入院となった男女約450例を対象に、医療情報としてHIS 端末(電子カルテ)および手術台帳から、男女分布、年齢分布、来院地域、受診経路、急性化要因、入院期間、処置、基礎疾患の有無、画像所見、血液検査結果を調査します。得られた医療情報から当科入院加療が必要となった炎症症例の臨床的統計を行います。
③ 概要	歯科領域における炎症は菌性感染（根尖病巣、辺縁性歯周炎、智歯周囲炎など）、抜歯後感染、薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）、放射線性骨髄炎などの様々な要因がある。炎症は対応が遅れると重症化する可能性があるため、迅速な診断と適正な治療が必要となる。高齢化の進行が顕著な昨今、高齢者の炎症症例も増加しており、今後の炎症症例に対する対応や留意点を検討するため、過去15年間の炎症入院症例を調査する。
④ 申請番号	2021-0228
⑤ 研究の目的・意義	近年炎症入院患者は減少傾向であるが、高齢化の進行に伴い、高齢者の炎症重症症例は増加している。過去15年の調査を行うことで、菌性感染症の動向を把握し、重症化を防ぐための予防策を検討する。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2026年12月31日まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている対象患者さんの病歴を使用させていただきます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	男女分布、年齢分布、来院地域、受診経路、急性化要因、入院期間、処置、基礎疾患の有無、画像所見、血液検査結果
⑨ 利用する者の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科：齋藤夕子、富原圭、上野山敦士、永井孝宏 新潟大学医歯学総合病院 医療連携口腔管理治療部：黒川亮
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	本学：新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科
⑪ お問い合わせ先	所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科 氏名：齋藤夕子 Tel：070-5080-7420 E-mail：hyuko@dent.niigata-u.ac.jp

